



胡月抄  
法  
法  
田  
十





御法 細 巻名以歌号定 河 へえぬづこは法るぐ  
 ぞこのまねくせしむさぶ中の整りを細源氏  
 十一巻乃まじり秋まじりの事あり 花紫上げ秋  
 せし海より

伏葉の上 細 一とせは終  
 くと若葉末甚くはる  
 くとりぞ以末とみ  
 くよは終る

いとせらるくしうい  
 盃まじりちるるやう  
 ちるるくみくもる  
 ちやうとまじり病相  
 あり

むらさきの上つらうづらひ終るは  
 らのらつとありとくおまそそは  
 とるくちやまじり終るは  
 ありぬいしゆらうくあつたわねど  
 年月くさるればこのりけりく  
 あえくまじりまじりまじり 盃 院の  
 ありるげくまじり 細 院の  
 もつれぬき終りん 細 院の  
 べくまじり 細 院の  
 よあぬ 細 院の  
 しまま 細 院の  
 うげと 細 院の

















































